

岐阜県の プラスチック

- ・ 多くの来賓招いて創立50周年記念式典を開催
「成形加工業界の未来をめざして乾杯」
- ・ 記念表彰式で組合員と関係者の功績を讃える
- ・ 射出成形の実技技能検定に91人が受検
- ・ 10月に大垣市で「岐阜テクノフェア」を開催

岐阜グランドホテルで開催した記念式典



多くの来賓招き創立50周年記念式典を開催

成形加工業界の未来めざし乾杯

祝辞、表彰、講演、コンサート、懇親会で祝う

岐阜県プラスチック工業組合は5月18日午後、岐阜市にある岐阜グランドホテルで『工業組合創立50周年記念式典』を盛大に開催した。出席者は、鈴木幸浩中部経済産業局総務企画部長、河合孝憲岐阜県副知事ら内外の関係機関・団体、賛助会員企業、記念事業協賛企業など多くの関係者を招き、受賞者や組合員を加えると150人余にのぼった。

式典は式辞・祝辞に続いて表彰式と講演会を行い、懇親会場へ移ってミニコンサートとパーティーを賑やかに開催し「成形加工業界の未来をめざして乾杯」。創立記念を祝った。

記念式典は田中肇副理事長が「晴れの工業組合創立50周年記念式典を開催します」と開会し児玉栄一理事長が式辞を述べた。

技術・機器の進化もありプラスチック産業が地場産業に発展・定着しました」。(中略)

「法人化後は大企業や他産地との競合、二度にわたるオイルショック、国際化や技術革新、度重なる経済不況、資源と環境問題、さらに近年はリーマン大不況という大きな痛手を受けました。組合は困難な環境の中で、見本市・展示会の見学や商談会への団体参加、研究機関による技術研修、先進企業の見学研修などを実施し、企業の成長・発展を支援し“岐阜県を代表する

意義ある記念の年に…

児玉栄一理事長の記念式辞

工業組合の児玉栄一理事長は「創立50周年の意義ある記念の年を迎えられたことは国・県や関係機関のご指導・ご支援と先人・先輩の努力によるものと感謝しております」と前置きし組合活動の経過と成形加工の将来を話した。

「工業組合は昭和43年、岐阜県内プラスチック関連67企業で発足した団体です。戦時の熱硬化性樹脂によって加工技術が生まれ、戦後の熱可塑性樹脂など新樹脂や成形機の登場から加工業が生まれたのです。その後、県の地場産業育成策や加工



工業組合創立50周年記念式典で式辞を述べる児玉栄一理事長

モノづくり産業”を築いたのです」。

「組合事業は経済環境に応じて年々変化してきましたが、技能検定委託事業はじめ20事業を主力に取り組み、次なる百周年に向け“生産性と付加価値を高める努力”を積み重ね“成形加工業界の未来”をめざして進みます」。

来賓から激励の言葉

招いた4人の代表から祝辞

式典には多くの来賓を招き、中部経済産業局局長代理・鈴木幸浩総務企画部長、河合孝憲岐阜県副知事、辻正岐阜県中小企業団体中央会会長、村瀬幸雄岐阜県職業能力開発協会会長の4人から、次の激励の祝辞をもらった。

鈴木幸浩中部経済産業局総務企画部長「中部の産業界は全国の中でも着実に進展しておりますが、一方で全国と同じ課題も背負っております。国は“生産性革命と人づくり革命の推進”をテーマに生産性向上、事業承継の促進、人材不足への対応を進めていきます。内容は生産性革命を実現する設備や人材へ投資ができる制度の拡充、事業承継・再編の促進では事業承継体制の拡充や支援策があり、期待してほしい」。



アリオン・サクソフォン・カルテットを招いたミニコンサート



各界からの祝辞をもらう

河合孝憲岐阜県副知事「県は企業の人材確保が急速に悪化しているため“中小企業総合人材確保センター”を新設し人材の確保と育成を総合的に支援しており、活用してほしい。企業の技術開発支援窓口では、関市にある工業技術研究所に産業技術センターと情報技術研究所を統合し、ワンストップで対応するモノづくり産業支援事業を展開していきます」。

村瀬幸雄岐阜県職業能力開発協会会長「大幅な人口減少時代を迎え、活力ある産業を維持していくには若い技能者の育成と技能向上が喫緊の課題です。いくら最新の技術が生まれても使いこなす人の技能・技術を必要とします。能力開発協会は果すべき重要性を改めて認識し、新時代の事業を積極的に進めてまいります」。

辻正岐阜県中央会会長「中小企業は国の礎としてがんばっていますが、近年の中小企業・小規模事業は高齢化が進み転廃業が続出、円滑な世代交代が課題になっております。先日、全国代表として総理官邸へ事業承継の改善で陳情してきましたので、今後、国の対策に期待してほしい」。

記念表彰式で組合員と関係者の功績を讃える

中部経済産業局局長表彰・県知事表彰・県中央会会長表彰・工業組合理事長表彰・同感謝状

次は記念表彰式で表彰された人。(敬称略)

《中部経済産業局局長表彰＝組合功労》

- ・大野 實 (株東海ポリエチ工業所)
- ・杉山 元彦 (パール化成品株)
- ・日比 勝次 (大垣プラスチック工業株)

《岐阜県知事表彰＝組合功労》

- ・高垣美代子 (八幡化成株)

《県中小企業団体中央会会長表彰・感謝状》

①組合功労

- ・林 敬一郎 (岐阜産研工業株)
- ・吉田 健司 (美濃化学工業株)

②青年部役員功労

- ・武藤 修平 (株武藤化成工業所)

③青年部役員功労感謝状

- ・宇野 兼史 (株東海化成工業所)
- ・朝日 崇光 (株アサヒ化成)
- ・真鍋 宏一 (厚見プラスチック工業有)

《県プラスチック工業組合理事長表彰・感謝状》

①役員功労

- ・田中 肇 (ムトー精工株)

- ・下野 泰輔 (アテナ工業株)
- ・洞田 浩司 (関プラスチック工業株)
- ・川瀬 忠雄 (株川瀬樹脂工業)

②理事長感謝状＝指導教育事業功労

- ・有末 博之 (コダマ樹脂工業株)
- ・岩田 裕幸 (コダマ樹脂工業株)
- ・佐々木 耕 (東海職業能力開発大学校)
- ・梅田 浩司 (岐阜国際たくみアカデミー)
- ・田中 康久 (岐阜プラスチック工業株)
- ・児玉 由宏 (コダマ樹脂工業株)
- ・中島 一彦 (ムトー精工株)
- ・安藤 勝基 (明光化成工業株)
- ・野村 雅志 (明光化成工業株)
- ・道家 康雄 (岐阜県産業技術センター)
- ・足立 良富 (岐阜県産業技術センター)
- ・浅倉 秀一 (岐阜県産業技術センター)
- ・丹羽 厚至 (岐阜県商工労働部)

③優良従業員表彰

- ・渡辺 修身 (岐阜技研ポリマー株勤続51年)
- ・岩井 重雄 (岐阜技研ポリマー株勤続49年)



「次の50周年に向けた業界の発展を…」と横山久範県産業技術センター所長の音頭で全員が乾杯



中部経済産業局局長表彰を受けた組合役員



県知事から組合功労表彰を受けた組合役員



県中央会会長表彰の組合役員と青年部功労者



工業組合理事長から功労表彰を受けた組合役員



布垣講師（左端）も懇親会に参加して交流



工業組合は指導教育功労者に感謝状を贈った



前理事長の大松さんも出席された現役員と歓談



ミニコンサートではサクソフォンの音色に感動

自動車の博物館は文化の交差点

ものづくりの時代背景も見えてくる

記念講演会はトヨタ博物館の布垣直昭館長を招き『自動車の変革の歴史に見るモノづくりと文化』をテーマに、自動車の歴史を背景にした時代の変化とモノづくりへの影響を話してもらった。布垣講師は1982年（昭和57年）入社以来、デザイン部門一筋に携わり、2006年からグローバルデザイン統括部長としてレクサスのブランド戦略を担当され、2014年からトヨタ博物館館長・社会貢献推進部長を勤められている。

博物館は歴史、記念館は技術を

〇…館長に就任してから「博物館にはトヨタ車が少ない」とよく聞かれます。トヨタのミュージアム・コンセプトは、トヨタ・グループが設立した産業技術記念館と鞍ヶ池記念館、豊田佐吉記念館の3館で、技術開発の変遷や創業資料を展示・紹介している。博物館はトヨタ創立50周年記念事業として設立、自動車の歴史と車文化の変遷を知ってもらうために、時代に輝いた欧・米・日の名車を展示しています。

また、本社に隣接してトヨタ会館を併設し、生まれたばかりの新型車を展示、工場見学をセ

ットにしてトヨタを紹介しています。

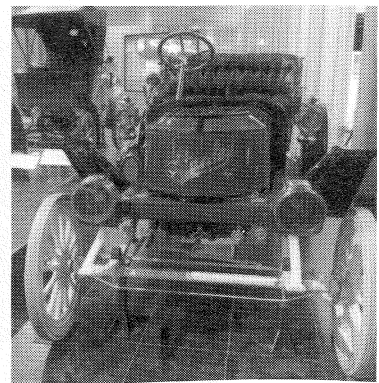
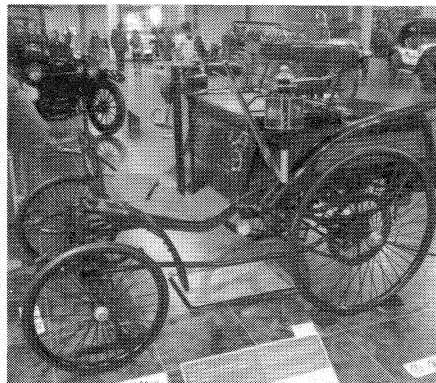
百年目の変革期に百年前を見る

〇…演題に100年に一度の変革期に、100年前を振り返る、とあります。100年前を見たわけではないので、歴史資料や写真で100年前を説明したいので、資料をもってきました。

変革期というと、プラスチック材料にもありました。それは1982年（昭和57年）頃、高機能樹脂が次々と開発され、自動車部材に多様化する別の意味での変革期でした。入社早々、内装設計を担当した時、新製品のプラスチック部材を使うかどうかで悩んだことがあります。異種部材は高価で、コスト高になるからです。今日では自由に設計できるプラスチック部材は当然のように使われ、内装はもとより外装のバンパーまで使う変革でした。

せめぎあった蒸気とガソリン車

〇…ガソリン自動車が登場したのは、130年前（明治19年）で、自転車のホイールを利用した3輪自動車でした。4輪車になると荷馬車そっ



ガソリン車も開発当初は3輪車や荷馬車スタイルで、蒸気自動車と競合した（トヨタ博物館で）

くりな形となり、当時はガソリン自動車と蒸気自動車がせめぎあった時代です。

こんな逸話があります。欧州の富豪がガソリン車を買ひ、エンジンが止まった時やガス欠の不安から、馬と一緒に走ったそうです。

現代のハイブリット車も同じ考えで、ガソリンと電気を組み合わせたからです。ガソリン車の開発当初はガソリンスタンドは無く、ガス欠に備えた不安があり、また水素スタンドが少ない今日の水素電池車も同じ歴史に遭遇して、面白い現象が起きています。

車が増えればスタンドも増える

○…130年前に開発されたガソリン車は、狭い道路を馬車と共有しました。30年後の1900年代（明治～大正）に入ると、ガソリン車にすっかり置き代わったのです。産業革命で交通量が増え、馬車では支えきれず、蒸気自動車も不便さから消え、ガソリン車が登場したのです。

続いて起きたことは1909年（明治42年）に米国フォードが、運転を簡素化したガソリン車をベルト・コンベヤー方式で量産し、売り出したことです。石油が出た米国でもガソリンスタンドは少なく、ガソリン車の大量生産と販売は追い風となってスタンドは増え、同時に車も普及するという相乗効果があったといえます。

ガソリン車が明治の日本を走る

○…日本でガソリン車が走ったのは1898年（明治31年）外国人が持ち込んだパナール・ルパッソールです。日本人では1907年（明治40年）有栖川宮がタクリー号を乗り回した。いずれも今は模型しかありませんが、現存すれば産業遺産に指定されるでしょう。

1912年（明治45年）にはスペイン製アルフォンソが、史上初のスポーツカーとして登場して



講演する布垣トヨタ博物館館長

います。ハンドルは熱硬化性のエポナイト製で、樹脂系材料の使い始めかもしれません。スペイン国王に献上されたガソリン車で、デザイナーは材料の美しさを利用したと思います。

フォードは横浜シボレーは大阪

○…1920年代から30年代（大正9年から昭和初期）に入り、日本国内にもガソリン車が走り始めました。欧米と同じように日本でも車の大衆化時代に入ったからで、これが100年前の変革期です。米国のフォードとシボレーは日本の市場性を認め、フォードは横浜に、シボレーは大阪に工場をつくり量産開始しました。

日本は欧米に追いつき追い越そうと一生懸命の時代で、江戸時代のからくり人形や時計を原点とする日本の技術力は、この時、目覚めたのです。米国ガソリン車であふれた1930年代（昭和5年）米国2社の大型車と競合しない“小型自動車の国産化”が各地の産業界に起き、試作が始まりました。日本政府も米国車の寡占市場を解決できるとし、国産自動車メーカーの育成に乗り出し、豊田自動織機（トヨタ）に続いて日産自動車に製造許可を与えたのです。

（布垣さんの講演要旨は紙面の都合で割愛します。組合事務局にはデジタル録音がありますのでご利用ください。なお、トヨタ博物館はリニューアル中ですが開館しております）

30年度総会を
式典前に開催

記念事業など年間事業予算を可決

テクノフェアへ出展、特級資格の獲得に向け啓発

工業組合は5月18日、グランドホテルで開催した『創立50周年記念式典』を前に『第50回通常総会』を開催した。総会議事は①平成29年度事業報告と総額1376万余円の収支決算②平成30年度事業計画と総額1945万円の収支予算③平成30年度賦課金及び納入方法④平成30年度取引金融機関及び借入金最高限度額一の4議案で議案説明の後、可決した。

新時代の組合事業を生み出す年

次は承認された平成30年度の主な事業計画。

《基本方針》平成30年度は『工業組合創立50周年』の記念すべき年。新年度総会に続き記念式典を開催し“成形加工の未来”をめざす。事業費は一括して平成30年度予算に計上した。

新年度の中小企業を取り巻く経済環境は依然として“人手不足、とくに技術人材の不足”が重要課題になっている。組合事業としては“人づくり・技術者育成”に焦点を当て、事業内容の充実に取り組んでいく。平成年度は今年度で終わるので、次の新元号による新時代に向け、新たな活動内容を生み出していく方針である。

《重点事業》平成30年度事業の重点は①創立50

周年記念式典の開催②人づくり事業として技能検定制度を活用した技能士誕生。初任者研修事業の充実と業界技術レベルの向上を目指す③次代を担う組合青年部活動の支援。プレ50周年記念事業に続いて大垣で開催する『ものづくり岐阜テクノフェア』への出展参加④業界交流事業では金型業界と新年互礼会開催。中部同業5団体で開く中部地区業界懇談会への参加（愛知県が担当）一を重点に進める。

1級に対して特級は少なく52人

各事業の項目別詳細は次のとおり。

◇技能検定制度による能力開発と促進＝①射出成形の実技検定を実施する中で、1級技能士が増加したことから、今年度からさらに上級の特級技能士の資格取得を目指す受検者を支援する②検定事業の円滑な運営を目指し事前説明会を開催、また受検者の検定操作手順を再確認する技能確認講習会参加を呼びかけ、合格率向上を図る③今年度はブロー成形作業の技能検定を実施予定④その他、検定関連職種を紹介と受付事務を実



記念式典行事に先立ち平成30年度総会を開催して新事業を議決

施する一など。

業界で特級受検資格を持つ1級合格技能士は射出成形・ブロー成形・金型製作を合わせ284人にのぼる。これに対し特級技能士は52人に過ぎないので、有資格者に特級受検を啓発し、業界の技術・工程管理など、実務管理のレベルアップに役立ててもらおう。

初任者研修の座学・実習を充実

◇技術・技能者の育成を支援＝①射出成形の初任者研修会を座学・実習とも内容充実を図り、組合員企業の従業員育成と定着対策に役立てる②産業技術センター、工業技術研究所、情報技術研究所の支援・協力を得て先端技術関連の紹介や研修会を随時行う一など。

メール・HPの配信業務を強化

◇産学官など関係機関との事業連携を推進＝①研修会、講演会、セミナーの開催②企業の省エネへの効果的な取り組みを提案していく③県及びソフトピアジャパンが進めるIoT活用、

関連する助成制度、AI技術開発等の関連情報を受け、啓発活動を行う一など。

◇情報発信機能と事業の強化＝①HP（ホームページ）を活用して組合活動を内外に広報する②メール、HPを使用し、各種事業を組合員へ配信する③季刊発行する会報は、組合や関連事業、講演会、講習会等の開催内容を詳細に掲載・提供する一など。

青年部のテクノフェア出展支援

◇青年部活動の支援＝①青年部が実施する事業活動を支援し、プラスチック成形加工業界の活動をPRし、業界の活性化に役立てていく。産業展への出展は前年度の『き業展』に続いて今年度は大垣市で開催する『ものづくり岐阜テクノフェア』への参加予算を組んだ一など。

◇その他の事業＝①組合員企業の労働保険事務代行と未適事業所加入促進業務の実施②親睦・交流など福利厚生事業を実施③隔月の定例役員会開催と組合懸案の処理や業界情報の交換一などを予定している。

＜平成30年度の月別事業実施計画概要＞

<4月>

- ・監査4月6日（金）
- ・第1回理事会4月10日（火）

<5月>

- ・第2回理事会5月18日（金）
- ・創立50周年記念式典5月18日（金）

<6月>

- ・プラスチック射出成形作業実技技能検定
6月28日（木）～8月1日（水）
- ・会報発行（初旬）

<9月>

- ・第3回理事会（下旬）
- ・会報発行（初旬）

<10月>

- ・組合関係者親睦ゴルフ大会（中旬）
- ・射出成形初任者研修会（調整中）
- ・中部地区業界団体懇談会10月30日（火）

<11月>

- ・先進企業視察研修会（見学先検討中）

<12月>

- ・第4回理事会及び役員懇談会（初旬）
- ・会報発行（初旬）

<平成31年1月～3月>

- ・第5回理事会（1月中旬）
- ・新年互礼会（1月中旬）
- ・会報発行（3月初旬）

射出成形の実技は91人(1級29人、2級62人)

前期技能検定・6月28日から8月1日まで23日間

工業組合が能力開発協会から委託実施する平成30年度前期技能検定『プラスチック成形・射出成形作業』の実技検定は、6月28日(火)から8月1日(水)までの23日間、成形機のある人材開発支援センター第三棟で実施する。今年度の受検者は、前年度の2級合格者が多かった反動もあって2級合格者は減少、1級合格者は例年並みの合格者数であった。

企業の技術者養成方法として定着

今年度のプラスチック成形・射出成形作業の実技受検者は、1級29人(前年度31人)2級62人(前年度74人)の合計91人(前年度105人)で、検定受検者数は平年並みとなり、企業の技術者育成方法として定着したようだ。

学科だけの受検者は1級1人、2級2人の計3人とどまり、受検希望者は学科も実技も同等に考え、技能を磨いているとみられる。

企業別では組合員が18企業・実技合計57人、員外企業は15企業・実技合計34人。員外では工作機械、自動車部品、映像機器、電機など成形

加工部門の内製化を図る企業がめだつた。

実技検定のスケジュールは5月30日(水)検定委員会議、6月1日(金)には補佐員業務説明会を検定会場で開催する。検定委員は11人、補佐員は12人で、使用する成形機と金型などを整備し検定業務に備える。

二節に分けメンテナンスを実施

受検者が集まる『知識説明会』は、6月5日(火)今年度は特別に岐阜産業会館5階第1会議室で開催する。続く『成形機操作説明会』は6月6日(水)から12日までの土日月曜日を除く5日間、グループ別に検定会場の人材開発支援センター第三棟で終日開催する。

検定は二節に分け、6月28日(木)から7月12日(木)までの11日間と、7月17日(火)から8月1日(水)までの12日間、合計23日間実施する。検定期間を分けたのは、金型メンテナンスと成形機を再調整し、後節に備える新しい試みである。

希望者に技能確認講習会を実施

工業組合は事前説明を受けても検定機に習熟できない受検者を対象に『技能確認講習会』を実施する。企業の使用機種と検定機種が異なることから要望に応えるもので、6月13日(水)から土日を除く10日間、先着順40人に1日を午前、午後に分け自由に機種を操作してもらう。

Plus New Idea
射出成形の未来を拓く。

日精樹脂工業は、お客様が抱える成形加工における煩わしさの低減や付加価値の高いモノづくりに向けた多彩な技術提案をさせていただきます。

射出成形をトータルサポート

成形材料
成形工法
金型
自動化システム
周辺機器

射出成形機

■ 高性能射出成形機
NEX-III Series (電気式)
FNX-III Series (ハイブリッド式)

NISSEI

射出成形機・金型・成形支援システム
日精樹脂工業株式会社
本社 工場 / 〒389-0633 長野県埴科郡埴科町南条2110
営業部TEL:0268-81-1050 FAX:0268-81-1551
http://www.nisseijushi.co.jp

2色・異材質
複合材成形
厚肉成形
LSR
インサード成形
PIM
MIM
多層成形

◇10月19日から2日間◇

岐阜テクノフェア開催

今回は大垣市総合体育館で

隔年開催の『ものづくり岐阜テクノフェア2018』は10月19日（金）と20日（土）の2日間、大垣市総合体育館で開催される。今回は大垣市制100周年記念事業とし、ソフトピアジャパンエリアで『未来フェスティバル』を併催する。

組合青年部や組合員企業も出展

当工業組合は後援し、出展（組合青年部）を計画、また組合員企業も数社出展予定している。

開催テーマは“夢を実現、いま伝統技術から先端技術まで集結”とし、県内外の企業・大学・研究機関が一堂に集まり、製品や技術・研究成果など“岐阜の技”を広くアピールする。

企画概要によると①メイン出展ゾーンは第1体育館②第2体育館は出展とビジネスマッチングゾーン③第3体育館はものづくり体験、次世



夢を実現、いま伝統技術から
先端技術までが集結

出展のご案内

平成30年
開催日 **10月19日[金]・20日[土]**
10:00～17:00(20日は16:00)

会場 **大垣市総合体育館**
ソフトピアジャパンセンター
(大垣市加賀野4丁目62番地)

申込期限
6月30日[土]

この要領は以下の各団体の協賛を受けて開催されます。
協賛会：岐阜県、大垣市、全国500社

主催 一般社団法人 岐阜県工業会

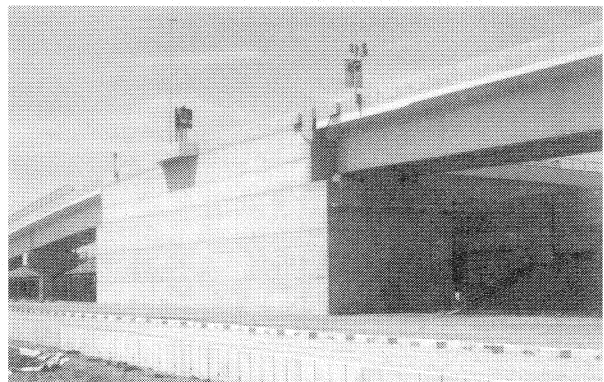
代エネルギー技術・電気自動車・燃料電池の展示④記念講演、特別講演⑤未来を拓く岐阜大学産学連携フェアなど、全体で200小間。

出展締め切りは6月末で、一般企業は1小間当たり5万円。

安八スマート I C 開通

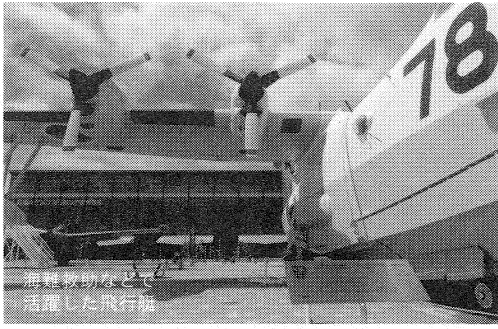
名神高速のアクセス向上

名神高速道路に建設されていた「安八スマートインターチェンジ」が完成し、さる3月24日からETC搭載車両向けに供用開始した。



安八スマート I C は北側から入る。開通で名神高速のアクセスが向上。南側は上り線用の側道

創立50周年は100周年への第一歩



海難救助など活躍した飛行機

①岐阜かかみがはら航空宇宙博物館リニューアルオープン

岐阜県プラスチック工業組合
役員一同



コダマ樹脂工業株式会社

代表取締役社長 児玉 栄一

本社 岐阜県安八郡神戸町末守 377の1
電話 (0584) 27-4141
支店 東京、大阪
営業所 本社
工場 本社、横井、熊本、栃木、池田

ポリエチレンチューブ
農業用ポリエチレンフィルム



株式会社 東海ポリエチ工業所

代表取締役社長 大野 實

本社工場 岐阜県羽島郡岐南町野中7丁目129番地 〒501-6004
TEL (058) 246-1313
FAX (058) 247-2411
名古屋営業所 名古屋市西区城西5丁目5番4号 〒451-0031
TEL (052) 521-9296
FAX (052) 532-1664
浜松事業所 浜松市西区入野町6056 〒432-8061
TEL (053) 447-2511
FAX (053) 447-4248



代表取締役

杉山 元彦

各種プラスチック真空成型加工



パール化成株式会社

本社・工場 〒501-0473 岐阜県本巣市温井243-3
TEL (058) 324-9155 (代) FAX (058) 324-6221
岐阜工場 〒500-8256 岐阜市八坂町40番地の1
TEL (058) 271-0861 (代) FAX (058) 275-0970
E-mail info@pearl-kaseihin.co.jp
URL http://www.pearl-kaseihin.co.jp/



ムトー精工株式会社

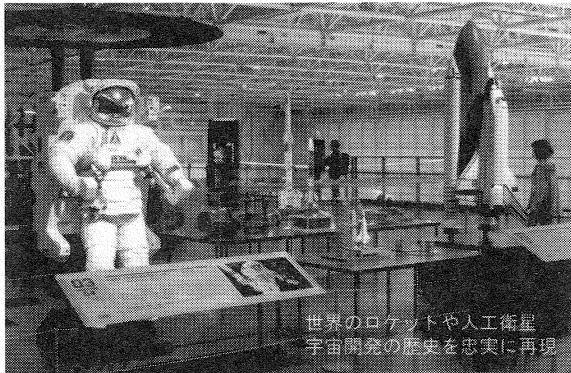
代表取締役 田中 肇

本社 〒509-0147 岐阜県各務原市鷺沼川崎町1-60-1
TEL (058) 371-1100 (代) FAX (058) 371-2593
岐阜工場 〒509-0147 岐阜県各務原市鷺沼川崎町1-93
TEL (058) 383-8311 (代) FAX (058) 383-1516



代表取締役社長 下野 泰輔

■本社・工場 岐阜県関市下有知5601番地の1
TEL (0575) 24-2424 (代表)
〒501-3217 FAX (0575) 24-0567
URL: http://www.athena-kogyo.co.jp



世界のロケットや人工衛星
宇宙開発の歴史を忠実に再現

②宇宙エリア。船外活動用の宇宙服とスペースシャトル(模型)

業務用食器一式・製造卸・治工具金型設計制作



大垣プラスチック工業株式会社

代表取締役

日比勝次

本社工場 大垣市大島町2丁目394番地
〒503-0001 ☎ (0584) 81-1347 (代)
精工部 ☎ (0584) 75-0333 (代)
FAX (0584) 81-1350

E-mail : ogaki-pla@okbnet.ne.jp



代表取締役 社長

林 敬 一 郎

岐阜産研工業株式会社

〒501-0555 岐阜県揖斐郡大野町公郷1403番地
TEL.0585-35-2529 URL:<http://www.gifusanken.com>
FAX.0585-35-2526 E-mail:k-hayashi@gifusanken.com



Ecoの輪を技術と製品で広げる

岐阜プラスチック工業株式会社

代表取締役会長 大松 利 幸

本社 / 岐阜市神田町9-27 大岐阜ビル12F
☎(058) 265-2232(代)



関プラスチック工業株式会社

プラスチック製品成形加工・プラスチック精密金型設計製作

代表取締役

洞 田 禮 彰

〒501-3904 岐阜県関市明生町2-7-10
TEL<0575>22-4352(代)
FAX<0575>24-5131
E-mail: office@sekipla.co.jp



高安株式会社

ECOナイロン樹脂「タナジック」の製造・販売
再生原着ポリエステル短繊維の製造・販売

代表取締役
社 長

高 安 彰

岐阜県各務原市蘇原村雨町3-47
〒504-0828 TEL.(058)382-2231(代表)
FAX (058)389-4563
URL <http://www.takayasu-rf.co.jp/>
E-mail: soumubu@takayasu-rf.co.jp



③本館の航空エリア。航空機開発の歴史を紹介する実機の展示場

hachimankasei co. ltd



取締役会長

高 垣 美代子

way-be®
sceltevie®
gardens

八幡化成株式会社

本社・工場：〒501-4204 岐阜県郡上市八幡町旭182番地
TEL.0575-67-1175 FAX.0575-65-5150

takagaki-m@hachimankasei.co.jp
<http://www.hachimankasei.co.jp>



Fukushima
Kagaku

代表取締役社長

福 島 康 貴

Yasutaka Fukushima

株式会社フクシマ化学 www.fuku-net.co.jp
〒505-0051 美濃加茂市加茂野町鷹之巣1912-1
tel 0574-26-1138 fax 0574-26-1139



MUTOH

代表取締役社長

武 藤 修 平

株式会社 武藤化成工業所

本 社 岐阜県関市武芸川町跡部781 〒501-2605
TEL.0575-46-3711 FAX.0575-46-2285
第二工場 岐阜県関市武芸川町跡部972 〒501-2605
TEL/FAX.0575-46-2720
shuhei-m@mutohkasei.jp
<http://mutohkasei.jp/>



各務原飛行場を
飛び立った
旧陸軍の戦闘機

④大戦時に約3000機も製造された「飛燕」。現存する戦時遺産



エンジニアリング
プラスチック成形加工
3Dプリンター加工

株式会社川瀬樹脂工業

代表取締役
社長 川瀬 忠雄

〒503-0011 岐阜県大垣市曾根町1丁目686番地

TEL (0584) 27-2566
FAX (0584) 27-5956
E-mail: t-kawase@sunthree.co.jp
URL: <http://www.kawase-pla.com/>



プラスチック原料製造販売
委託加工及びカラーリング

美濃化学工業株式会社

代表取締役 吉田 健司

〒501-3763
岐阜県美濃市極楽寺 1 4 5 1 - 1
TEL (0575) 33-1888 FAX (0575) 33-1618
E-mail: mk1451@ceres.ocn.ne.jp

岐阜県のプラスチック 2018年 第232号

平成30年6月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番地1号
(岐阜産業会館4階)

電話 (058) 272-7173

FAX (058) 276-1525

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 岩津 文子

全てのニーズにお応えするJPP
技術力で信頼にお応えするJPP

Excellent Polypropylene

日本ポリプロ株式会社は、全てのお客様の信頼に広範かつ高度な技術力で適確にお応えしてまいります。

バテック®PP

卓越した材料設計技術で広範な応用分野のニーズ
にお応えするポリプロピレン

ウィンテック®

独自のメタロセン触媒技術によって開発された
新世代ポリプロピレン

ニューコン®

当社独自の気相重合法によって制御された特異的な
固体構造を有する新規ポリオレフィン系リアクターTPO

ニューストレン®

高い溶融張力を有し、大型ブロー、肉厚シート成形、
異形押出成形が可能な高機能ポリプロピレン

ニューフォーマー®

高い溶融張力と歪み硬化性を有する発泡成形用
ポリプロピレン

ファンクスター®

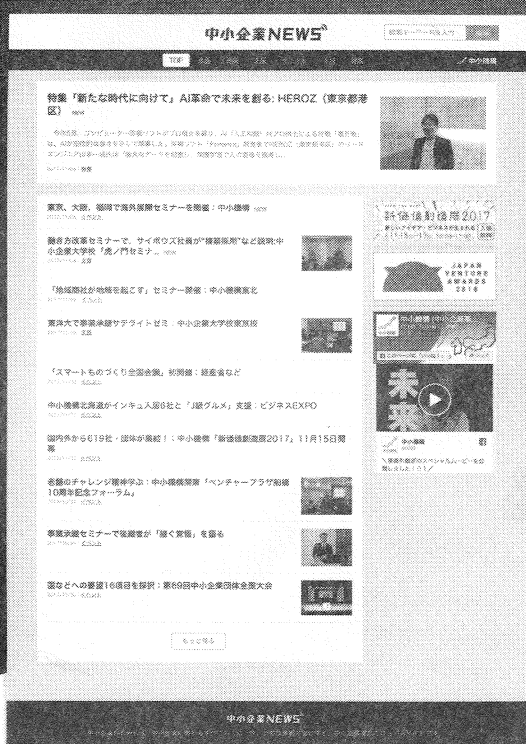
射出及び溶融圧縮成形向け高性能ガラス繊維
強化ポリプロピレン

 日本ポリプロ株式会社

〒108-0014 東京都港区芝4丁目14番1号 TEL03-6414-4500

「中小機構」発、 中小企業NEWS。

無料



全国の中小企業やその支援機関に
向けて、国の支援事業やイベント、
注目企業の活動事例など、
企業経営に役立つホットな情報を
毎日発信するニュースサイト。

中小企業NEWS

中小企業NEWS

中小機構 広報課 メール: info-koho@smrj.go.jp

<中小企業NEWS・メルマガ(中小機構インフォメーション)登録>

検索: <http://news.smrj.go.jp/>

メルマガ

中小機構インフォメーション

中小機構の実施するイベントや
セミナー情報などを毎月2回配信。
新聞版とも連携。

新聞版

ニュースサイトの情報をより深掘りした
新聞版を、毎月2回(1日・15日)掲載。

KODAMA

時代のニーズに応える、次世代容器

ハイパーピュアボトル

NEW

ハイパーピュアボトルは、半導体用高純度薬品容器として、
新たな成形技術により生まれた高品質・高精度な多機能容器です。
高いバリア機能を有した高耐久・ハイクリーンな次世代ボトルです。

特徴

ハイクリーン化の実現

原料メーカーと共同開発した原料を使用することによりハイクリーン化を実現致しました。
また、更に当社独自の製造技術革新によりパーティクルを大幅に減らすことが可能になりました。

多層容器の開発

従来のピュアボトルの2層構造に比べ、ハイパーピュアボトルは5~7層構造になっており、最内層樹脂の選択が可能となり、クリーン性とバリア性を同時に実現することが可能となりました。

安心・安全

プラスチック容器であるため、耐久性・耐衝撃性に優れ、破損の心配なく、安心してご使用いただけます。

環境との調和

ガラス瓶に比べ、破損等の心配がなく、軽量であるため取扱い易く、輸送面において環境に優しく、より経済的効果を得られます。



Kodama Plastic co.,Ltd

コダマ樹脂工業株式会社

<http://www.d-kjk.co.jp>

本社	〒503-2393	岐阜県安八郡神戸町末守377-1	TEL 0584-27-4141
営業拠点	本社営業部	〒503-2393	岐阜県安八郡神戸町末守377-1 TEL 0584-27-4992
	東京支店	〒104-0031	東京都中央区京橋1丁目16番10号 TEL 03-3564-5266
	大阪支店	〒530-0001	大阪府北区梅田2丁目5番2号 TEL 06-6341-0015